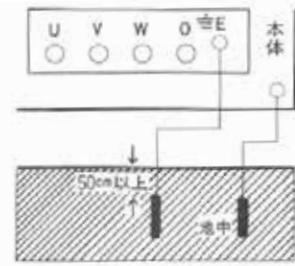


●接地アースの取り方

- (1) O端子はアースではありません。O端子にアース線を接続すると発電機または、負荷側モーターの焼損事故を引き起こします。アースは必ず中性点アース端子 (E) から取って下さい。
- (2) 安全のため別線で本体 (ボディ) アースも取って下さい。
- (3) アースを取らないと漏電保護装置が作動せず、感電・漏電火災などの原因となり危険です。
- (4) アース工事が電気工事士 (第三種設置工事) の資格が必要です。
- (5) 負荷側にもアースが必要です。
- (6) 接地抵抗値は500Ω以下です。



●使用ケーブルの選定

使用ケーブルはケーブルに流すことのできる許容電流と発電機から負荷までの距離を考慮のうえ、十分な太さのものを使用してください。ケーブルに流れる負荷電流が許容電流を超えると過熱により燃焼したり、また長さに対して細かすぎると電気機器の入力電圧が下がり、仕事量が低下したり、作動しないことがあります。電圧降下は5%以内になるようにケーブルの長さとお太さを選定してください。

■ ケーブルによる電圧降下簡略式

配線方式	電圧降下	ケーブルの断面積	備考
単相2線式	$e = \frac{35.6 \times L \times I}{1.000 \times A}$	$A = \frac{35.6 \times L \times I}{1.000 \times e}$	L: ケーブルの長さ (m) I: 使用電流 (A) A: ケーブル断面積 (mm ²) e: 電圧降下 (V)
三相3線式	$e = \frac{30.8 \times L \times I}{1.000 \times A}$	$A = \frac{30.8 \times L \times I}{1.000 \times e}$	

■ キャプタイヤケーブルの許容電流表

		導体公称総面積 (mm) ²													
		0.75	1.25	2.0	3.5	5.5	6	14	22	30	38	50	60	80	100
許 容 電 流	単心	14A	19A	25A	37A	49A	62A	88A	115A	140A	165A	195A	225A	270A	315A
	2心	12A	16A	22A	32A	41A	51A	71A	95A	110A	130A	150A	170A	-	-
	3心	10A	14A	19A	28A	36A	44A	62A	83A	98A	110A	125A	150A	-	-
	4心	9A	13A	17A	25A	32A	39A	55A	74A	89A	100A	115A	135A	-	-

※この表は、キャプタイヤケーブルを通常の配線として用いる場合のもので、ドラム巻きなどで使用する場合は、製造業者などの指定する電流減少係数を用いる必要がある。
 ※この表において、中性線、設置線及び制御回路用の電線は、心線数には数えない。すなわち、単相3線式に使用する3心キャプタイヤケーブルは、内1心が中性線であるので、2心に対する許容電流を適用し、3相3線式電動機に接続する4心のキャプタイヤケーブルのうち1心をその電動機の設置線として使用する場合は、3心に対する許容電流を適用する。

■ キャプタイヤケーブルの引き伸ばし許容長さ

モータ出力 (kW) キャプタイヤケーブルのサイズ (mm)	単相 100V			3相 200V													キャプタイヤケーブルの定格電流 (A)
	0.15	0.25	0.4	0.25	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	19	22	37		
0.75	27															ただし 一△ 起動時に 限る	5.5
1.25	44	29	27	380	225	140	55										12
2	60	45	40	590	350	220	85	80	37								16
3.5	120	85	75			400	150	140	70	65							20
5.5						600	240	220	110	100							25
8								320	160	150	80						35
14								560	280	260	140	130					50
22										400	220	215	110				70
30										560	300	290	150	100	190		85
38												370	190	125	240		100
50														160	300	120	
60														205	380	135	